

No.NR22-GA022

2023年3月28日

会社名 EIZO 株式会社  
代表者名 代表取締役社長 実盛 祥隆  
(コード番号 6737 東証プライム)  
問合せ先 執行役員 総務部長 比良 浄敬  
電話番号 076 (275) 4121

## CDPの「サプライヤー・エンゲージメント評価」において 最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定

EIZO株式会社(本社:石川県白山市、代表取締役社長:実盛祥隆)は、国際的な環境非営利団体であるCDP※が実施した「CDP2022 サプライヤー・エンゲージメント評価」において、最高評価である「サプライヤーエンゲージメント・リーダー」に選定されました。

当社は先に実施されたCDPの気候変動分野に関する 2022 年調査において、リーダーシップレベルである「A マイナス」スコアを獲得しています。今回の「サプライヤー・エンゲージメント評価」は、この気候変動質問書のうち4分野(「ガバナンス」、「目標」、「Scope(スコープ)3排出量」、「バリューチェーンエンゲージメント」)への回答に加えCDP気候変動分野の「総合スコア」の計5項目により、企業が気候変動課題においてどのようにサプライヤーと協働しているかを評価するものです。

2022年度は約8,000社の評価対象企業のうち、上位8%にあたる653社(うち日本企業は131社)が「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定されています。

当社は「映像を通じて豊かな未来社会に貢献」することを企業理念として掲げ、これを実現するためのEIZO グループ行動指針をサステナビリティの方針としています。環境に調和した企業活動、サプライチェーンを通じたサステナビリティの推進は当社の重要な経営課題の一つであり、「気候変動への対応」および「サプライチェーンマネジメント」をマテリアリティ(重要課題)として、サプライチェーン全体でのエネルギーマネジメントや気候変動緩和などのサステナビリティの推進に、サプライヤーの皆様のご理解・ご協力を得ながら取り組んでおります。今回の選定は、このような当社の取り組みが評価されたものと考えています。

※CDP:2000年に英国で発足。企業等の環境情報開示・評価システムを運営し、環境情報開示におけるグローバルスタンダードとして広く認知されている。2022年には680を超える機関投資家と280社を超える大手購買企業が、CDPのプラットフォームを通じて環境への影響、リスク・機会に関するデータの開示を要請し、グローバルで過去最高の約18,700社の企業が質問書の回答に応じている。

▼CDPグローバルWebサイト

<https://www.cdp.net/en>



以上